

『罪』 作：ポチ子

『罪』 作：ポチ子

私の罪は何でしょう。

昔、家にあった本に書いてありました。

あなたは生まれながらにして罪を背負っていると。

だからその罪を浄化するために、

私を信じなさいと。

私の罪とは一体なんでしょう。

この血は、体は、

罪深いそうです。

人間が犯した罪が積み重なっているから。

でも、それは本当に私の罪なんでしょうか。

私とあなたが他人であるように、

誰かが罪を犯そうと、

その血が私に流れていようと、

私の罪ではないと思うのです。

それが本当に罪ならば、

私が、

私だけが悔い改めたとして、

消えるわけがないのですから。